

平成24年度 第5回理事会議事録

日時：平成24年12月4日（火）17：10～18：45

場所：福龍菜館（岩本町）

構成理事現在数：18名（理事会成立定足数は過半数10名）

出席理事：腰塚、中森、山上、半田、並木、土谷、斉藤、諸星、山下、松井、水谷、宮本、山田、大橋、滝沢（出席15名）

欠席理事：鴨居、井上、中出

出席監事：中川、宮沢

欠席監事：

事務局：滝沢 書記：小林和博

（審議事項）

1 平成24年度第4回理事会議事録の件

全員異議なく承認された。

2 入会承認の件

半田理事より説明があり、全員異議なく承認された。

今回は名前を記述している。渡辺氏は新年度会員で3月1日に会員数に参入

「学生会員から正会員」に記載された所属の無い会員について、首都大学で大学院に所属しているが、本人の希望で、正会員へ移動されたことがコメントされた。間もなく満了で退学になるためと思われる。

3 平成24年秋季発表会収支報告の件

諸星理事より説明があり、全員異議なく承認された。

研究普及委員会で意見として、駅前の便利な施設を借りるための出費をした割には、思ったより参加者が少なかったことが挙げられた。建築学会の大きな学会と重複していたが、宿泊施設の問題はなかった。

懇親会費の割高感がある、という意見が地方の若手から挙げられることがある（料理の量に関しての意見）。

4 平成24年秋季シンポジウム収支報告の件

諸星理事より説明があり、全員異議なく承認された。

5 2012年度第1回ORセミナー収支報告の件

斉藤理事より説明があり、全員異議なく承認された。

学生の参加人数が少なかった。アンケートの内容として、ハンズオンの時間が足りなかった、詰め込みすぎた、本の販売があればよかった、という意見があげられた。

6 2013年度第1回ORセミナー（案）の件

斉藤理事より説明があり、全員異議なく承認された。

学生会員の会費を無料にしてほしい、という要望を反映して、案を作成している。

これによって、学生会員の参加を増やしたい。土曜日での開催で調整中である。

4月の第3週の土曜日を想定している。新入生が落ち着いたころを想定している。

去年は30人を切る程度の参加者であった。講師の交通費の支出が増える可能性がある。

7 平成25年度「支部事業計画」審査結果の件

諸星理事より説明があり、全員異議なく承認された。

すべての支部より応募があった。研究普及委員会としては、予算をオーバーするが、③案を提案したい。学会の費用としては問題ない、ということで承認された。

8 研究部会「評価のOR」表彰規程の件

諸星理事より説明があり、全員異議なく承認された。

9 2014年春季研究発表会開催地の件

諸星理事より説明があり、全員異議なく承認された。

2015年の春は東京だがそろそろ会場を検討する必要がある。

10 学会規程見直しの件

滝沢理事より説明があり、全員異議なく承認された。

“啓蒙”ではなく、“啓発”を使うほうが望ましい、という意見が挙げられた。それに対して、啓蒙を不適切とすることには慎重になるべきである、という意見も挙げられた。

11 「選考委員会」に関する規程の件

滝沢理事より説明があった。

「業績賞」の選考プロセスや賞金について継続検討とすることにした。

12 平成25年度予算策定の件

水谷理事より説明があり、全員異議なく承認された。

そのうち、《学会経費削減に向けて（粗々案）》については、滝沢理事より説明があった。

1 3 IFORS, APORS に関する提案の件

土谷理事より説明がなされた。

国際担当理事が APORS 代表を務めることとし、大山先生との交代時期は、今後の検討とするとされた。

(報告事項)

鴨居副会長からの報告は、滝沢理事から代理で説明がなされた。

山上副会長、中森副会長、腰塚会長から報告があった。

次回は、来年4月に行う。

FME S の活動について、滝沢理事から報告があった。また、横幹連合理事についての説明があった。当学会から推薦することはない、ということとなった。

腰塚会長から横幹連合の報告があった。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

平成24年12月4日

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

平成24年度 第5回理事会

議事録署名人

議長（会長）	代表理事	腰塚	武志
（副会長）	代表理事	中森	眞理雄
（副会長）	代表理事	山上	伸
	監事	宮沢	政清
	監事	中川	慶一郎